

リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

L

【率いる】
Leading

ハワイ路線も「三方よし」を実現

今年5月24日、全日本空輸(ANA)は、成田~ホノルル線に総2階建てエアバスA380型機を就航。機体の愛称は「フライング・ホヌ(空飛ぶウミガメ)」。1便あたりの座席数は従来の約2倍の520席。初号機が週3往復で就航後、2号機を投入して7月からは週10往復に拡大。3号機は2020年春に就航予定だ。平子裕志社長は語る。

「他社と比較して“ハワイ対決”などと騒がれることが多いのですが、ANAの原点は「売り方よし・買い方よし・世間よし」の三方よし。これまで、ハイシーズンはすぐに席が埋まってしまったり、ハワイの特典航空券が取りにくかったりということがありましたが、席数や座席のバリエーションが増えれば、売り方よし、買い方よしを実現できます。世間よしは、現地の経済波及効果に加え、グループ全体で推進している環境保全においても貢献していきたいと考えています。具体的には、絶滅の危機に瀕しているウミガメの保護を目指し、プラスチックごみや砂浜汚染の問題に取り組み、ビーチ清掃などを始めています」

今年2月には羽田~ウィーン線の運航を開始。オーストラリアは9月1日より成田~パース線、インドは10月27日より成田~チェンナイ線の就航を予定している。

「ウィーン線は、中東や東欧への乗り継ぎも便利。オーストラリア西部の景観都市・パースは近年日本企業の進出が目立ち、観光だけでなくビジネスの利用も多く見込めます。インド南東部のチェンナイは自動車産業を中心に製造業がさかんな都市で、人や物の動きが活発化すると見えています」

路線ネットワークの拡大に注力

2020年の首都圏発着枠の拡大に向け、路線ネットワークの拡大も目指す。国際線は未就航地「ホワイトスポット」への路線拡大が一つの柱となる、平子社長。

「顕在化している需要だけでなく潜在的な需要をつかみ、路線の将来性や持続性を予測する必要があります。例えば中国の青島に就航を始めた1994年当時、青島にとくに日本のツーリストは少数でした。しかし同地の発展とともに観光でもビジネスでもにぎわう路線となりました。このように大きな流動を生む路線を開拓していきます。ご期待ください」

平子社長のモットーは現場主義。文字通り現場に足を運び、従業員や利用客の生の声を聞く。月に1度全社員に発信するメッセージは、社長に直接返信できる仕組みになっている。

「ANAグループは今、個人を尊重し、互いの強みを最大限に生かす組織を目指してダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。私は2004年から約2年間、羽田空港の旅客部長としてお客様対応を行う空港係員約800名の陣頭指揮をとりました。従業員が生き生きと働ける形を試行錯誤した当時の経験が、今に生きています。座右の銘は、フランスの生化学者・ルイ・パスツールの言葉「The chance favors the prepared mind. (チャンスは準備ができた者に微笑む)」。備えてさえいれば何があっても自分に勝つことができると信じて、日々それに努めています」

■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、平子裕志さんが語るリーダー論を紹介しています。
<https://adv.asahi.com/> 朝日新聞 広告 検索



ひらこゆうじ
平子裕志 さん
1958年大分県生まれ。81年東京大学経済学部卒。同年全日本空輸入社。2012年執行役員米州室長兼ニューヨーク支店長。15年全日本空輸取締役兼ANAホールディングス取締役。17年4月から現職。

平子裕志さんのおすすめ本棚

『貞観政要(新装版)』(明德出版社) 原田種成・著
歴史家・呉越が唐の太宗の政治に関する言行を編録した書。古くから為政者や実業人に読まれ、徳川家康や北条政子も愛読した政治法典。漢文と現代訳を取録。

『ポスト資本主義社会』(ダイヤモンド社) P.F.ドラッカー・著 上田博生・訳
本書は、他のいかなる国の読者よりも日本人にとって大きな意味がある(まえがきより)。知識社会への転換期における様々な変化の様相と意味を解明。

『不都合な真実』(実業之日本社文庫) アル・ゴア・著 枝廣淳子・訳
地球温暖化を伝えるドキュメンタリー映画「不都合な真実」の書籍版。海水の上昇、氷河の消滅、砂漠化などの深刻な現状を訴え、警鐘を鳴らした話題作。

『ソロモンの指環 動物行動学入門』(ハヤカワ文庫) コラント・ローレンツ・著 日高敏隆・訳
「刷り込み」理論を提唱し、動物行動学をうめた功績でノーベル賞を受賞した著者が、動物たちの生態について、ユーモアあふれる筆致でつづった名作。

『蜜蜂と遠雷』上・下(幻冬舎文庫) 恩田陸・著
天才たちが繰り広げる競争という名の自らの闘い。近年その覇者が音楽会の寵児となるピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描ききった青春群像小説。

「ソロモンの指環は70年前の本で、著者のローレンツ博士が様々な動物と暮らすその行動を観察した記録です。博士の家に動物たちが放し飼いにされ、野生の鳥もやってくる。襲われないように

動物の習性に感動し 人間社会の危うさを感じる
地球温暖化問題を訴える「不都合な真実」は、映画も話題になりました。書籍版は政治色を抑え、写真や図解をわかりやすく展開して、とても説得力があります。心に残ったのは、「この危機は政治の問題ではない。倫理の問題だ」というアル・ゴアの言葉。地球の未来のために、次の世代のために、今何をすべきか。一読に値する啓発書だと思います。

「蜜蜂と遠雷」は、妻と娘にすすめられたのですが、書名にもひかれました。意外な単語の取り合わせで入っている。シャロ・ロク・ホーミヤが晩年養蜂家になるからで。小説の舞台は、世界の注目を集める国際ピアノコンクール。正當な音楽教育を受けたことがない養蜂家の息子・風間陸が触媒となって、参加者たちの才能が開花していく。その心理描写が見事でした。私はクラシック音楽が大好きな人で、妻と娘がすすめた理由もわかりました。世界中の人々の心をなごませ、幸せにする音楽のすばらしさを、登場人物たちの演奏を想像しながら堪能しました。(誠)

R

【読む】
Reading

現代企業の課題を重なる

「電子書籍も便利ですが、書棚に並べたり付箋をつけたりできる紙の本がやはりいいですね」と、全日本空輸代表取締役社長の平子裕志さん。「航空機内でのいちばん好きな過ごし方は、読書。映画や音楽などの機内エンターテインメントもチェックしたいので、長時間のフライトでも忙しいです(笑)」

と制限されたほど(笑)。書店に行くのを楽しみに待つ日々を過ごし、全60編を破りました。決して先入観をもたず、いかなるものであれ、事実の導いた結論は従う「見る」として観察することは、まったく違う「見」であったホーミヤの名言は、人生の教訓になっていきます。

「電子書籍も便利ですが、書棚に並べたり付箋をつけたりできる紙の本がやはりいいですね」と、全日本空輸代表取締役社長の平子裕志さん。「航空機内でのいちばん好きな過ごし方は、読書。映画や音楽などの機内エンターテインメントもチェックしたいので、長時間のフライトでも忙しいです(笑)」

「電子書籍も便利ですが、書棚に並べたり付箋をつけたりできる紙の本がやはりいいですね」と、全日本空輸代表取締役社長の平子裕志さん。「航空機内でのいちばん好きな過ごし方は、読書。映画や音楽などの機内エンターテインメントもチェックしたいので、長時間のフライトでも忙しいです(笑)」

胸打つ書には、未来への示唆がある



私はまだ、音楽の神様に愛されているだろうか？

蜜蜂と遠雷

上・下

杉山巧 上・下各 730円 (税抜き)

●お近くに書店がない場合のご注文はブックサービス TEL:0120-29-9625 まで。

恩田陸 遠雷

世界最高峰コンクールの1つ、芳ヶ江国際ピアノコンクール。注目のコンテストは4人。

自宅にピアノを持たない少年 風間陸 16歳。
天才少女としてCDデビューしながら突然ピアノが弾けなくなった栄伝亜夜 20歳。
音大出身 妻子持ちのサラリーマン 高島明石 28歳。
完璧な技術と音楽性の優勝候補と目される 名門ジュリアード音楽院のマサル・クレヴィア ナートル 19歳。

彼らをはじめとする数多の天才たちが繰り広げる競争という名の自らの闘い。優勝するのは誰なのか？

累計 134.3万部

2019年10月4日(金) 全国東宝系ロードショー

出演 松岡茉優 松坂桃李 森崎ウィン 鈴鹿央士(新人) 監督 石川慶

映画化は無謀、そう思っていました。「参りました」を乗り越えて「やってくれました!」の一言です。— 恩田陸

直木賞と本屋大賞を史上唯一、W受賞。待望の文庫化!